

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	人間コミュニケーション学特別演習第一		
英文授業科目名	Advanced Studies in Human Communication Sciences 1		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	通年	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法	演習	単位数	6
科目区分	電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	各指導教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>人間コミュニケーション学専攻の各専門分野における第一線の技術者・研究者となるべく、当該分野に係る専門知識、技術、知見を修得するために、文献を調査し、知識を整理・体系化するとともに、議論、発表、演習などを行う。</p> <p>本演習を通じて、高度な思考能力・問題解決能力・論理的コミュニケーション能力を身に付けるとともに技術者・研究者としての倫理の自覚を促す。</p> <p>適切な文献調査手法、研究の方法論を修得し議論、発表が行えるようになることが本演習の達成目標である。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
研究指導教員と相談すること。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
研究指導教員と相談すること。

【教科書等】
研究指導教員と相談すること。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

研究指導教員の下で，論文購読，議論，発表，演習等を行う。
具体的な内容は，研究室によって異なるが，基本的な内容を下記に示す。

1. 人間コミュニケーション学専攻の各専門分野における専門知識の修得
2. 個別テーマに関する文献購読
3. プレゼンテーション
4. 議論

専門知識の修得，適切な文献購読には膨大な時間が必要であるため，自主的かつ意欲的な学習態度が必要である。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

設定したテーマについて，必要な文献調査を行い，テーマの位置付けを明確にするとともに，理論的・実験的な研究を行うための課題について議論できることが，合格の達成基準である。この成果をまとめ，発表し，討論を行うという全体的な過程を見て，教員群が達成度を評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

指導員により異なるので，予め確認して相談すること。

【学生へのメッセージ】

特になし

【その他】

なし